

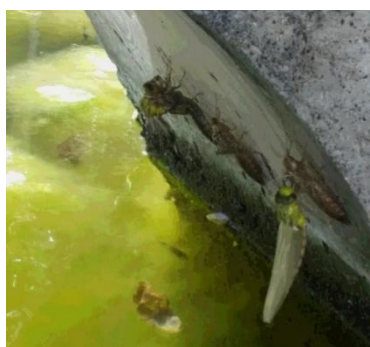
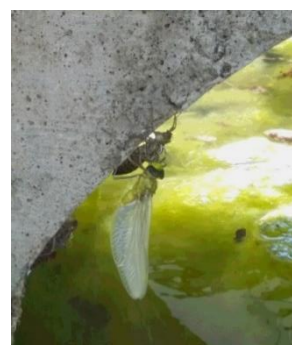


## 「描き やりきり 創り出す」③

### ～「描き」は学びを創る～

全校朝会で「描きは学びを創る」というテーマで話をしました。私は、散歩を趣味の一つにしています。週末は必ず散歩をします。健康のためでもあります。それだけではなく、歩くといろいろな気づきがあります。「何か新しいものを見つけよう。」という思いをもって散歩をします。

しばらく前は、こんなものを見つけました。右の写真です。何か分かりますか？トンボがヤゴから羽化するところです。私ははじめて見ました。トンボが完全に羽化するまで、ずっと見てい



ました。また、周囲を見ますと、このトンボが群生しているのが分かりました。すべてのヤゴからトンボが羽化して飛び立とうとしていました。左の写真がその様子です（ちょっと分かりにくいですが）。

分からないのが、このトンボの名前です。「これは解決したい。」「家の昆虫図鑑とスマホで調べよう。」と自分の学びを「描き」ました

何という名前のトンボだと思う？と子どもに問うと、「オニヤンマ」「赤とんぼ」と答えてくれた子どもがいました。名前は、「シオカラトンボ」でした。なんと、「シオカラトンボ」と答えた子どももいました。もっと大きく成長したシオカラトンボのことは知っています。雄の体の色は水色、雌の体の色は茶色で、町の中を結構飛んでいます。しかし、羽化する時は緑なんですね。だから、シオカラトンボとは分かりませんでした。湿ったところが好きで、川や沼、池にたまごを生み、そこからヤゴが上がってきて成虫になるトンボです。この程度のことには知っていましたが、羽化する時期のシオカラトンボのことははじめて知りました。

日頃のくらしの中で、「これって何だろう？」という気づきはたくさんあります。しかし、気づいて終わることもたくさんあると思います。それはもったいないことです。気づいたことを、「こんな方法で解決してみよう！」と学びを「描き」、それを「やりきる」ことが新たな学びを「創り出して」いきます。

学校の授業の中だけではなく、日頃の家庭生活の中での不思議や疑問を「描き」につなげ、それを「やりきり」、学びを「創り出す」経験を積み上げていく習慣（クセ）つけてほしいという私の思いを子どもたちに話しました。

## 小体連陸上大会終わる



5月25日月曜日に、小体連陸上大会が行われました。子どもたちは自分の力を精一杯出し切りました。

勝てばうれしいし、負ければ悔しいです。ですが、子どもたちはみんな「いい走りができました。」「やりきりました。」「と言っていました。うれしい気持ちになりました。

このように、子どもたちが自分の取組に満足できたのは、これまでの練習が有意義であったからだと思います。自分たちで声をかけ合い、みんなでよりよく練習を創り出していました。まさに、「描き、やりきり、創り出す」姿でした。陸上大会に向けた取組の過程で、力と心が磨かれ、個と集団が成長できたことをうれしく思います。

### そして、**3・4年生ありがとう**

大会前には壮行式を3・4年生が中心となって行いました。

「5・6年生にどんな思いを、どのように伝えていきたいのか。」その「描き」が素敵な壮行式を「創り出す」ことにつながりました。1・2年生の声もすばらしかったです。全校みんな「やりきれた」陸上大会になりました。



## 持久走記録会



6月4日（木）に持久走記録会を行いました。みんなとてもいい顔でした。最後まで走り切りました。友達を心配し、寄り添う姿も見られました。そんな子どもたちの姿に私は心打たれました。きっと、「こんな持久走記録会にしよう。」という描きがあったからだと思います。それが、やりきる姿と友達を思うやさしい姿につながったと思います。この日、子どもたちからたくさんの元気とあたたかさをもらいました。



多くの保護者の方にもご来校いただき、エールを送っていただきました。ありがとうございました。



## 神楽学習はじまる！！



5月27日（水）、神楽学習のはじめの会をしました。神楽を表現できる子どもたちのことを「すごい！！」と思います。「そもそも神楽って何？」「神楽はいつからはじまっているの？」「弥栄の神楽と他の地域の神楽の違いって何？」「神楽の魅力って何？」「なぜ弥栄は神楽がさかんなの？」・・・私の中には疑問がたくさんあります。子どもたちともに神楽学習を進めていく中で、私も神楽に関することをたくさん学んでいきたいと思っています。弥栄の文化を学び、それを次の時代に継承していくための大事な神楽学習です。この日、子どもたちは神楽学習に対する決意を表明しました。「決意は描き」です。「それをやりきり」「継承につながる神楽学習をみんなで創り出す」姿を楽しみにしています。斎藤お師匠さん、平田お師匠さん、美浦お師匠さん、本年もどうぞよろしくお願ひします。